

校外学習実践報告—地域社会論における視察—

吉田 勝紀*

Off-Campus / On-Site Study of Shonai-Area

Katsunori Yoshida *

要旨: 新型コロナの影響で社会生活が大きな影響を受けている。行動が制限され、教育機関ではデジタル技術を活用したオンライン授業などが行われるようになってきている。IT 会計ビジネス科では、幸いにも対面授業が継続されており、校外学習についても一部を除いて実施することができた。「地域社会論」における校外学習について報告する。

キーワード: 地域社会、校外学習

1. はじめに

新型コロナの影響で社会生活が大きな影響を受けている。行動が制限され、教育機関ではデジタル技術を活用してオンライン授業などが行われるようになってきている。IT 会計ビジネス科では幸いにも対面授業が継続されており、昨年に引き続き「地域社会論」において校外学習を実施したので、本稿でその内容について報告する。なお、この授業では、フィールドワークを交えながら地域が抱える諸問題を学んでいる。

2. 地域社会論シラバス（令和3年度）

2.1 授業概要（目的）

地域社会を学ぶことは、言い換えればすなわち日本を知ること。庄内地域社会に起きている現象を通じて「足元」の課題を学びながら認識し、地方都市の将来像を探求することを目的として構成する。特に実地調査などのフィールドワークを重視する。

2.2 到達目標

庄内地域が抱える諸問題について精通している部外講師から講義していただく。何れのサブテーマも基本的には日本の多くの地方都市が抱える課題と共通しており、ここでは酒田市の事例を軸に解説する。具体的には「活性化」にどう取り組んでいるかについてクローズアップすることにより地域の抱える諸問題を考えていく。

2.3 授業計画

- ① ガイダンス
- ② 国の政策や日本経済の動向
- ③ 新型・コロナ感染に伴う社会の変化
- ④ 地方都市～地域の現状と課題を考える
(酒田市の事例・予算及び政策の方向から)
- ⑤ 地方都市の「産業」の現状について
(酒田市の事例から)
- ⑥ 地方都市の商店街と大型店に係る規制法等の歴史について
- ⑦ 地方都市の街(まち)づくり～酒田市「中心市街地」まちづくり事例から
- ⑧ 地方都市の街(まち)づくりと「地域資源」(歴史)について
- ⑨ 地方都市の街(まち)づくりと「地域の観光・誘客」について
- ⑩ 校外学習(酒田市)地域資源(観光スポットや商店街・歴史の痕跡)を観察。現地集合
- ⑪ 校外学習(鶴岡市)地域資源(観光スポットや商店街・歴史の痕跡)を観察。現地集合
- ⑫ 校外学習(庄内町)地域資源(観光スポットや商店街・歴史の痕跡)を観察。現地集合
- ⑬ 振り返り(酒田市・庄内町・鶴岡市)とまとめ・写真整理・編集。
- ⑭ 校外学習～個々の発表会(一人5分程度)私を感じたまちの「課題・まちの魅力」
- ⑮ 震災から学ぶ～東日本大震災・復興の今と直近の自然災害から学ぶ。
- ⑯ デジタル化社会～総務省レポート等から
- ⑰ 脱・炭素社会について～環境省・自然エネルギー財団レポート等から
- ⑱ 校外学習(南洲神社)の歴史を聞く。

* 山形県立産業技術短期大学校庄内校
〒998-0102 山形県酒田市京田三丁目 57-4

* Shonai College of Industry & Technology
3-57-4 Kyoden, Sakata City, Yamagata, 998-0102, Japan

- ⑱地方都市の魅力について、意見交換
- ⑳印象深いテーマ(関心のあつたテーマ含む)についてレポートを作成。

3. 校外学習概要

令和3年度は、シラバスに基づき校外学習を3回実施した。新型コロナ対策に必要なこととして、マスク着用、手洗い、ソーシャルディスタンス等の遵守を指導し、健康観察に留意した。なお、4回目に予定していた酒田市南洲神社への校外学習は諸般の事情で中止した。

4. 校外学習1回目概要(酒田地区)

- (1)日時 令和3年6月18日(金) 13:00-16:10
- (2)場所 酒田港周辺及びさかた街中キャンパス
- (3)内容 酒田港周辺、酒田市中町商店街、山居倉庫を視察。酒田市役所駐車場に集合し、現地解散とした。

(4)視察の要点

①商店街の観察

魅力のある店、とその理由やどんな店があるかカウントする。この商店街の将来性について考察する。

②屋根付きのモール

商店街の中に屋根付きのスペースがあることは重要な意味を持っている。どんな役割や効果が期待できるのか考える。

③港

港は重要港湾として位置づけされているが、港があることで経済的にどんなことが期待できるのかを考える。

④山居倉庫

酒田で最も観光客が多い場所であることを前提に何が魅力なのか、場合によっては歴史を紐解きその核心を追及する。

(5)視察場所について

①酒田港(本港地区)

酒田港の飛鳥行き定期船発着所隣のさかた海鮮市場では、港を行き来する船を眺めながら新鮮な海の幸を堪能することができる。また、海洋に関する知識の普及、海や港の役割や大切さを学べる山形県酒田海洋センターが隣接している。海洋センターの西側に広がる船場町緑地(東ふ頭緑地)は、芝生広場や遊具、休憩所、スケートボード広

場などがあるほか、ふ頭沿いの園路では海を見ながら散策が楽しめる。¹⁾

②日和山公園

日本海に沈む夕陽が旅情をかきたてる日和山公園は、桜の名所でもあり、毎年4月中旬には酒田日和山桜まつりが開催され、ソメイヨシノなど約400本の桜が咲き誇り、夜はボンボリでのライトアップも行われている。園内には、日本最古級の木造六角灯台や方角石、往時活躍した千石船(1/2で再現)などがあり、港町の風情を醸し出している。また、園内の全長1.2kmにわたる散歩道には、29基の文学碑が建てられ、江戸時代から昭和にかけて酒田を訪れた文人墨客を紹介している。六角灯台越しには酒田港や最上川河口を一望でき、日本海に沈む夕陽を観ることができる。²⁾

③酒田中町商店街

酒田大火(1976年)からの復興として中心街が再開発され、1978年にショッピングモールが建設された。キーテナントとして「庄内地域唯一の百貨店」として認知されてきた「マリーン5清水屋」が商店街の集客に大きな役割を果たしているが、郊外型店舗の影響、百貨店離れなどの影響を受け、集客に苦戦している。なお、同店は、令和3年7月15日で閉店した。³⁾

④山居倉庫

山居倉庫は1893年(明治26)に酒田米穀取引所の付属倉庫として、旧庄内藩酒井家により最上川と新井田川に挟まれた通称「山居島」に建てられた。

舟による米の積み下ろしに便利な立地で、12棟の巨大な木造の倉庫を連ねた美しい建物と、最上川側のケヤキ並木が独特の風情を伝えている。

建設された14棟のうち12棟が残っており、現在も米穀倉庫として使用され、一部は「庄内米歴史資料館」や観光物産館として活用されている。⁴⁾



図1 山居倉庫(筆者撮影)

Fig. 1. Sankyo Warehouse

5. 校外学習 2 回目概要 (鶴岡地区)

- (1)日時 令和3年6月25日(金) 13:00-16:10
 (2)場所 鶴岡市エスモール, 鶴岡市役所周辺, 山王商店街等. 鶴岡エスモールひかりの広場に集合し, 現地解散とした.
 (3)内容 鶴岡市商業施設等の視察
 (4)視察の要点
 ①鶴岡市は酒田市より人口が多く市エリアの面積が広く, 山形県では第二の都市である.
 ②鶴岡市の観察コースは, 駅近隣の大型店舗「S スモール」⇒「鶴岡公園周辺」⇒「銀座商店街」⇒「山王通り商店街」⇒「S スモール」.
 ③銀座商店街の観察のポイント

距離が長く続く商店街で城下町の商店街として江戸時代から続く店舗も少なくないが, 郊外に商業集積が続いていることで開店休業状態の店や空店舗, または夜型の飲食店が多くある. したがって人通りが少なくかなり厳しいエリアである.

(5) 視察場所について

①S モール

S-MALL は, 昭和 53 年にオープンし, 平成 14 年 10 月に新たなコンセプトのもと, ファッション店舗を中心とする専門店ビルとして全面改装した商業施設である. 各店舗が魅力的な店舗づくりを行っており, スペースの見やすさ, 買いやすさにつながる施設となっている.⁵⁾

②鶴岡公園

庄内藩主・酒井家の居城・鶴ヶ岡城址公園である. 市の中心部に位置し, 園内にある 730 本の桜は「日本さくら名所 100 選」に選ばれ, 県内有数の桜の名所として知られている.

③致道館

致道館は, 庄内藩酒井家 9 代忠徳(ただあり)が退廃した土風を刷新して藩政の振興を図るために文化 2 年(1805)に創設した学校である. 明治 6 年(1873)の廃校に至るまでのおよそ 70 年間, 致道館は荻生徂徠(おぎゅうそらい)の学風を伝承し, 且つ孝悌忠信を重んじて武士道を体得し, 互いに切磋琢磨して多くの人材を輩出した. その後, 時代とともに鶴岡県庁舎, 鶴岡警察署, 朝陽第一・第二尋常小学校などへの変遷を経て, 昭和 26 年(1951)に国の史跡に指定され, 40 年(1965)から 4 年間にわたる第 1 期保存修理の後, 昭和 47 年(1972)から一般公開している.⁶⁾



図 2 致道館 出典 (つるおか観光ナビ)
<https://www.tsuruokakanko.com/spot/306>
 (参照 2022.2.16)

Fig. 2. Chidokan

④鶴岡銀座商店街

鶴岡銀座商店街は, 鶴岡公園や鶴岡駅に通じ, 山形県鶴岡の中心市街地にある商店街である.

全長約 500m に及ぶ 2 車線道路の両脇には白いアーケードがかかり, その下には衣料品店, 雑貨屋, 化粧品店, 製菓店, 生鮮食品店, 飲食店, 居酒屋, バーやスナックなど昼夜問わず楽しめる 42 店の加盟店で賑わっている.⁷⁾

6. 校外学習 3 回目概要 (清河八郎記念館・羽黒山五重塔)

- (1)日時 令和3年7月2日(金) 12:30-17:00
 (2)場所 清河八郎記念館及び羽黒山五重塔
 (3)内容 庄内町清川地区と鶴岡市羽黒町の名所旧跡の視察. 移動は借上バスを利用し, 行程は, 学校出発(12:30)⇒清河八郎記念館見学(13:30)⇒羽黒山五重塔(14:40)⇒学校解散(17:00)とした.
 (4)視察の要点
 ①清河八郎とはどんな人物なのか.
 ②戊辰戦争における清川の戦い(古戦場跡).
 ②羽黒山の階段を実際に上り下りし, 五重塔について観察する.
 (5)視察場所について
 ①清河八郎記念館

「清河八郎記念館」は明治維新の魁である清河八郎の百年記念事業の一つとして, 昭和 37 年に建設された. その遺品及び明治維新資料は百数十点が保管され, その一部は常時展示している. その中で山形県文化財として指定されているものは 51 点. 荘内戊辰の役清川口古戦場御殿林を背景に,

清河神社境内に建立されている。⁸⁾

②羽黒山五重塔

羽黒山参道、一の坂上り口の杉並木の中にあり、東北地方では最古の塔といわれ、平将門の創建と伝えられている。現在の塔は、約600年前に再建されたものといわれている。高さが29.0mの三間五層柿苜素木造で、昭和41年には国宝に指定された。⁹⁾



図3 羽黒山五重塔 (筆者撮影)

Fig. 3. Five-storied pagoda

7. 校外学習の振り返り

地域ならではの歴史や伝統に触れその良さや美しさなどを味わうことで、「歴史・文化」への関心が高まることが期待でき、また、地域に誇れるものがあることを学ぶことができた。さらに事前・事後の学習を含めて、学んだことや感じたことをわかりやすくレポートとしてまとめる力が育まれたことがあげられる。

レポートの中では、以下のような肯定的な意見・感想が多くみられた。

- ①「山形県や酒田市が直面している問題は、私が考えていたこと以上のことが起こっていることに驚いた。これまで人口減少など深く考えたことはなかったが、自分の生活に大きく関わっていることを感じた。街づくりにも目を向けるようになり、街の発展に貢献していきたい。」
- ②「内陸出身なので酒田のことを全くと言えるほど知識がなかった。酒田市民が『酒田市は何もない』と言っているが、間違いだと考える。」
- ③「校外学習や授業を通して酒田市の成り立ち、抱える問題、良いところなどを知ることができた。」

④「庄内は魅力的な場所だと感じた。」

⑤「授業を受けた後、世界の問題に目を向けるようになったし、問題解決に向けて考えていく必要があると思った。」

⑥「地元のいいところ、改善点などを知ることができ、自分は何ができるのかを考えていきたい。」

⑦「今回の校外学習を通して多くのことを学ぶことができた。」

8. おわりに

本稿にて、IT会計ビジネス科における校外学習の概要や学生が得たことなどについて報告した。

コロナ後の教育については、第4期教育振興基本計画では、オンライン活用などについて諮問された。現場で・現物を・現実に見ること、この体験活動の価値を再認識し、「デジタル」と「リアル」の最適な組み合わせが求められている。

最後に、当授業でご指導いただいている菊池亮哲氏に感謝いたします。

引用文献

- 1) “酒田港の施設”. 山形県. 2020-10-12, <https://www.pref.yamagata.jp/180033/kurashi/kendo/kouwan/yamagataport/sisetugaiyou.html>, (参照 2022-02-19)
- 2) やまがた酒田さんぽ“日和山公園”. 一般社団法人酒田観光物産協会. <https://sakata-kankou.com/spot/30166>, (参照 2022-02-19)
- 3) “山形・酒田の老舗「百貨店」が閉店へ 5月に社長が急逝”. 朝日新聞デジタル. 2021-7-3, <https://www.asahi.com/articles/ASP726T10P72UZHB00L.html>, (参照 2022-02-14)
- 4) “山居倉庫”. 山形県. 2021-1-29, https://www.pref.yamagata.jp/110001/sangyo/sangyoushinkou/him_top/him_maincat4/him_05.html, (参照 2022-02-19)
- 5) “総合案内”. 鶴岡市のショッピングセンターエスモール. <https://happy-s-mall.com/info/#facility>, (参照 2022-02-19)
- 6) “致道館の沿革”. 致道館. 2016, <https://www.chido.jp/chidokan/contents/history.html>, (参照 2022-02-19)
- 7) “私たちについて”. 鶴岡銀座商店街振興組合. 2021, <https://tsuruokaginza.tsuruoka-shotengai.com/about/>, (参照 2022-02-19)
- 8) “清河八郎記念館”. 庄内町情報発信課. 2006, <https://hachiro.navishonai.jp/kinenkan/index.html>, (参照 2022-02-19)
- 9) “羽黒山 五重塔 (国宝)”. 一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー. <https://www.tsuruokakanko.com/spot/256>, (参照 2022-02-19)